

あなたのくらしのすぐ下で

下水再生リン入り肥料「みんなのこえ」が 横浜グリーンエキスポ会場で使用されます！

～横浜の下水道資源が食と緑を守ります～

横浜市では、下水汚泥に含まれるリンを回収し、横浜生まれの再生リン「はま巡リン」として肥料原料に活用する事業に取り組んでいます。

このたび、「はま巡リン」入り肥料「みんなのこえ」が、横浜グリーンエキスポの会場内で使用されることになりました。横浜市民の暮らしの中で発生した下水から回収した再生リンが、肥料の原料として横浜グリーンエキスポ会場の花や緑の育成に活用されます。

1 背景と概要

横浜市では、輸入に依存している肥料原料の国産化、市内の食料安全保障の強化を目的に、下水中に多く含まれるリン成分を肥料原料として回収しています。回収した再生リンの利用を推進するため、令和5年7月に「JA横浜及びJA全農かながわと「下水再生リンの肥料利用促進に関する連携協定」を締結し、再生リンを配合した肥料「みんなのこえ」の製造及び利用拡大に取り組んでいます。

「みんなのこえ」は、GREEN×EXPO 協会による植栽試験において、会場植栽での効果や適用性が確認されたことから、横浜グリーンエキスポ会場内の植栽に使用されることとなりました。

肥料の使用を通じて横浜グリーンエキスポの機運醸成に取り組むとともに、持続可能な農業や循環型社会の形成に向けた本市の取組を国内外へ発信します。

2 再生リン入り肥料「みんなのこえ」

下水汚泥から回収した再生リン「はま巡リン」を10%配合しているほか、堆肥や米ぬかなどの有機質原料を使用している環境に配慮した肥料です。作物全般に使いやすいとされる汎用性の高い8-8-8（窒素8%、リン酸8%、カリウム8%）肥料とリン酸とカリウムが過剰な畑に向く12-5-5（窒素12%、リン酸5%、カリウム5%）肥料の2種類を展開しており、JA横浜のメルカート各店にて店頭販売しています。



「みんなのこえ」の製品パッケージデザイン

裏面あり

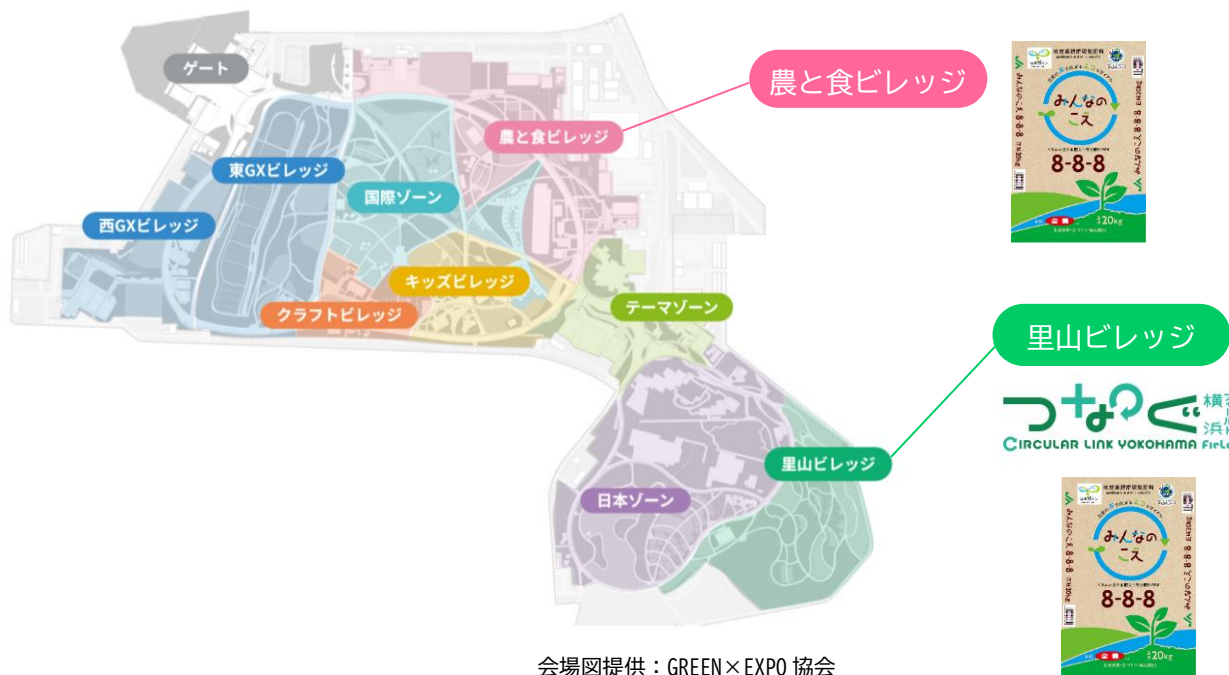


GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

3 使用場所

主に横浜グリーンエクスポ会場内の「農と食ビレッジ」及び「里山ビレッジ」の横浜市出展「つなぐ横浜フィールド」で「みんなのこえ」（8-8-8）を使用する予定です。



会場図提供：GREEN×EXPO 協会

参考：下水汚泥からのリン回収

国土交通省の下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）の自主研究として、月島JFEアクアソリューション株式会社と共同で「MAPにより脱水ろ液から効率的にリンを回収する技術に関する実証研究」を実施しています。この研究は、下水汚泥を処理する過程で発生する脱水ろ液からリン酸マグネシウムアンモニウム（MAP）を再生リンとして回収し、肥料原料に活用する技術を実証するものです。

横浜の下水道から生まれた再生リンは、再生を表す「巡る」という字と「リン」を合わせて「はま巡リン」と名付けました。ロゴマーク（右）は、再生・循環・サーキュラーのイメージとして無限大のマークをもとに、再生リンから芽吹き、育つ植物の双葉をモチーフにしています。



下水汚泥から回収した
再生リン



再生リン PR ロゴマーク
「はま巡リン」



YOKOHAMA CIRCULAR LINK 「たべるサーキュラー」

横浜市は、循環型都市への移行を目指して、6つの分野でサーキュラーエコノミーの取組「横浜サーキュラーリンク」を推進しています。
本件は横浜の「農」を生かした食の循環を目指す「たべる」サーキュラーの取組の一部です。



サーキュラーリンクについてもっと知りたい方はこちら▶（横浜市中期計画 2026-2029）P.73

お問合せ先

マネジメント推進課担当課長 清水 Tel 045-671-2940



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

